

第6期（2018年度）全14回

ジャーナリズム公開講座

開催日はいずれも木曜日、時間は18:30~20:30

入場無料、申込み順先着80名 どなたでも参加いただけます。

健全なジャーナリズムこそ民主主義の基本です。

	<p>第12回／立岩陽一郎（「ニュースのタネ」編集長、元NHK記者） 2019年1月31日（B-nest）</p>
	<p>第13回／軽部謙介（時事通信論説委員） 2月28日（静岡県教育会館）</p>
	<p>「アベノミクスと報道」</p>
	<p>1955年東京都生まれ。79年早稲田大学卒、時事通信社入社。社会部、福岡支社、那覇支局などを経て東京本社経済部へ。ワシントン支局特派員（92-96年）、経済部次長、ワシントン支局長（2004-07年）、ニューヨーク総局長（07-09年）、編集局次長、解説委員長等を経て現職。著書に『官僚たちのアベノミクス』『日米コメ交渉』『検証 バブル失政』など。</p>
	<p>第14回／山崎毅（食の安全と安心を科学する会理事長） 3月28日（B-nest）</p>
	<p>「『食の安全・安心』はリスクの大小を比較することから」</p> <p>1960年広島県生まれ。東京大学農学部卒。獣医学博士、リスク学者。1985年、湧永製薬入社。米国ロマリンダ大学医学部客員研究員を経て、94年からWakunaga of America社でサプリメントの研究開発と学術業務に従事。2011年NPO法人食の安全と安心を科学する会(SFSS)を創立、理事長に就任。社会活動として食生活ジャーナリストの会（JFJ）事務局長、NPO法人ファクトチェック・イニシアティブ（FIJ）理事。専門分野は食のリスクコミュニケーション、機能性食品。</p>

第1回／常岡浩介（ジャーナリスト）2018年4月26日 「国際報道とロシアの宣伝工作」
第2回／高 英起（デイリーNKジャパン編集長）5月31日 「米朝首脳会談に向けた金正恩氏の本音」
第3回／澤 康臣（共同通信記者）6月28日 「世界の極秘情報を暴いた国際調査報道記者連合」
第4回／西本幸恒（文藝春秋編集者）7月19日 「ノンフィクションと調査報道の現場」
第5回／菱川暁夫（元陸上自衛隊テストパイロット）8月2日 「消防防災ヘリコプター 指揮と運用そして救助される立場から」
第6回／米山伸郎（日賑グローバル代表取締役）8月30日 「知識産業立国イスラエルーイスラエルから何を学ぶべきか」
第7回／加藤晴之（書籍編集者、元『週刊現代』編集長）9月27日 「ベストセラーを作る編集」
第8回／小泉 悠（未来工学研究所研究員）10月25日 「復活したロシアの軍事力と日本」
第9回／小川和久（静岡県立大学特任教授）11月15日 「平和の実現と軍事報道 トランプ時代の国際情勢と日本の安全保障」
第10回／楊井人文（FIJ事務局長、弁護士）11月29日 「ファクトチェックと従来型報道は何が違うのか？—様々な誤解を正す—」
第11回／川村二郎（元『週刊朝日』編集長）12月20日 「朝日新聞と日本語」

静岡県立大学ジャーナリズム公開講座 受講申込書			
氏 名	フリガナ		
住 所	〒		
電話番号		職 業	
E-mail / FAX		年 齢	歳

お申込先はFAX:054-245-5603またはnishi@u-shizuoka-ken.ac.jp
電話:054-245-5600 前日までにお申込みできない場合、当日に受付で申込書にご記入ください。